



農 委 だ よ り
常 総

平成19年1月1日発行
第 2 号

〒303-8501

茨城県常総市水海道諏訪町3222-3

電話 0297-23-2111 (代表)

発行／常総市農業委員会

編集／農委だより常総編集委員会



年頭のごあいさつ



農業委員会会長
横田 恒夫

新年あけましておめでとうございます。皆様方にはご家族おそろいで、輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年の水稲作柄は日照不足と天候不順により全国的に不良でした。茨城県では作況指数が97の「やや不良」で三年ぶりの不作でした。一方、平成十七年の県の農業産出額が千葉県を抜いて全国第三位になりました。本県が千葉県を上回るのは十二年ぶりだそうです。さて、政府は平成十七年三月、「食料・農業・農村基本計画」を策定するとともに、十月には基本計画において、重要施策の一つとして明記された「品目

横断的経営安定対策」の導入を中心とした「経営所得安定対策等大綱」を決定しました。これまでの対策を、担い手に対象を絞り、経営全体に着目した対策に転換する戦後農政最大の改革を実施することを明らかにしました。当市におきましても

とりわけ、意欲ある担い手の確保・育成と優良農地の確保・有効利用は、農業改革の重要課題であります。農業委員会としましても新たな経営安定対策の普及・定着と担い手の経営確立、多様な農地利用のありかたを踏まえ、適正な農地政策と農業構造改革に向け、その機能を十分に発揮し、農業改革の推進役としての役割を果たさなければならぬと考えております。本年も皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

農業委員
(議席順)

石見山 寛一 皆見川 啓一 横持子 創一 倉沼 領一 飯沼 誠一 風見 正一 草間 勝一 渡辺 治一 長妻 英一 橋本 武一 岡野 幹一 山本 孝一 結城 孝一 堀越 穂一 坂野 一武 植竹 一子 倉持 茂 田村 亮 野田 秀 田口 保 野田 恒 横田 久 稲葉 繁 倉田 充 渡辺 一 長田 夫 秋田 夫 渡邊 夫 本間 文 平田 甚 倉田 文 本間 敬 浦和 紀 門井 明

女性農業委員として



農業委員 (菅原) 横川 やい子

農業委員をお引き受けし一年半が過ぎようとしています。現在の農業の在り方、担い手の減少、高齢化等の厳しさを知り、改めて農業の大切さを感じました。

農地の集積、農業を志す者や認定農業者に対する支援、農業者同志の情報交換交流、関係機関との意見交換等の活動がされているとのこと。

これから農業を始めたい若者が魅力を感じるような環境づくり等、たくさんの課題が課せられていることを知りました。

また、これからは農業分野においても、様々な場面で女性の参加が期待されます。

地域社会づくりのために、地元農産物の需要供給、食農推進での食生活改善

平成17年 主要業務実績

農地移動の実態 (1月~12月)		件数	面積(m ²)
3条	所有権移転	132	258,507
	賃貸借	6	17,192
	使用貸借	73	369,069
	届出	14	50,147
4条	知事許可	18	7,266
	届出	7	3,961
5条	知事許可	140	192,905
	届出	26	12,356
4・5条制限除外		26	41,281
大臣許可		0	0
20条解約		140	220,619
現況証明	許可前	7	2,782
	許可後	0	0
農業経営基盤強化		456	1,630,368

1. プとの連携、家族経営協定の安定化等、女性ならではの活躍の場がたくさんあると思います。農業農村とは、大切な食料の生産はもとより、伝統文化の継承や美しい環境づくり等、様々な面から活動の場を提供しています。これらを大切に守りえる活動を続け、地域の発展につながることを願っております。

吉野農家組合による 農産物直売所

吉野農家組合は、3年前から市役所商工観光課の協力を得、地元吉野公園で、年3回出店をしています。自家用米コシヒカリ、自家用野菜等を各戸一列づつ多く有機減農薬にて栽培し、季節泥付野菜で販売。特に東京、千葉、埼玉からの釣りのお客様に好評を頂いているところです。新米の予



約注文から、次の出店日を知らせてほしい等々問い合わせがあり、吉野農家としてうれしくもあり、やる気も湧き小規模直売所も、捨てたものではないと組合員再認識するところです。

皆様もどうぞご来店、お立ち寄り頂ければ幸いです。(本年の出店予定…5月27日・8月下旬・11月3日)

体験学習

農業委員 橋本 武夫

五箇小では、全校生徒、PTA、教職員、地元農委にて、12年来の恒例であり



ます稲作栽培を行っています。11aの田を元農委石塚氏より無償で借用し、昨年5月9日田植、9月21日稲刈を実施し、校風伝統を重んじ奉仕の精神や勤労の尊さを体得し、創意工夫して働くことの意義と喜びを学んでいます。

また、11月収穫祭「三世代ふれあいのつどい」には、みんなで収穫したコシヒカリと持ち寄り野菜のカレーライス会食で楽しみながら食育を実感しています。

これからも、子供達の健全やかな成長を願い、地域一体となり協力し合いながら続けられることを願っています。



★農地転用には

許可申請・届出が必要

農地を転用する場合には、許可申請・届出の手続きが必要で、申請・届出は、農業委員会事務局が担当しておりますので、ご相談ください。

★農地転用とは

農地に住宅等を建築したり、駐車場や資材置場等に使用するなど、耕作目的以外の用途に変更することをいいます。一時的に使用する場合も、これに含まれます。

す。

その土地が農地であるかどうかは、現況によって判断されますので、土地登記簿上の地目が農地以外であっても、耕作されていれば転用の許可が必要です。

農地転用には、農地所有者が自ら転用する場合（農地法第4条）と、その農地の権利をもたない者が、農地所有者から農地を買い受け、または借り受けて転用する場合（農地法第5条）があります。

市街化調整区域内の農地を転用する場合は、県知事の許可が必要です。

市街化区域内の農地を転用する場合は、農業委員会への届出が必要です。

★農地改良も届出が必要

農地改良とは、土質や水はけが悪くなってしまうなどの理由で、耕作に適さなくなった農地を良質な土で埋立を行うものです。単なる残土処分を行うためのものではありませんので、農地改良を計画されている場合は、地元の農業委員、農業委員会事務局へご相談ください。

★農地の埋立は

農家が責任を持って

近年、農地改良と称して農地に残土だけでなく、産業廃棄物などを埋立て、産地の利用ができなくなったり、周辺農地に被害がでたりしています。付近の農地・農作物・道水路などに被害・損害を与えたときは、業者と連携してその復旧、補償の責任を持たなければなりません。

また、農地の埋立を行う

場合は、農地法の許可のほかに市又は県の「土地の埋立等の規制に関する条例」に基づく許可が必要です。これは、埋立面積が300㎡以上5,000㎡未満にについては市、5,000㎡以上の場合には県の許可になります。詳しくは、農業委員会事務局へご相談ください。

★違反転用をすると

農地法の許可を受けずに農地を転用したり、転用に係る事業計画どおりに転用していない場合には農地法違反となり、転用行為の中止命令や、転用農地の原状回復などの命令がなされる場合があります（農地法第83条の2）。また、3年以下の懲役又は300万円以下の罰金の適用もあります（農地法第92条）。

平成17年 農用地利用集積事業

■ 利用権設定

(1月～12月) 単位：㎡

地区別	更新分	新規分
水海道	687	45,765
豊岡	34,607	293,644
菅原	22,872	143,606
大花羽	30,809	114,379
三妻	28,961	117,574
五箇	12,913	151,107
大生	37,916	130,506
坂手	0	27,869
内守谷	54,999	91,209
菅生	3,948	93,453
大塚戸	0	1,539
石下	63,454	15,238
豊田	4,611	1,678
玉	15,365	3,751
岡田	18,185	11,800
飯沼	46,884	11,039
合 計	376,211	1,254,157

※田畑別面積

田	1,212,368㎡
畑	418,000㎡
計	1,630,368㎡

農林水産大臣賞 受賞

このたび、横田会長が農林水産大臣賞を受賞されました。農業委員9期26年間の功績が認められ、今回の受賞になりました。誠にめでとございませう。

農業者年金に 加入して

菅生町 茂呂貴志・将義さん
私たちが兄弟は、兄貴志が、八ヶ岳中央農業実践大学校卒業後就職し、弟将義は、埼玉県春日部市の農家で研修後、就農しました。

農業は、一般的なサラリーマン等と違い厚生年金等がないため、国民年金しか貰えない。親も農業者年金に加入していることと、自分たちも農業を専業としていたため、国からの助成金もあることから、農業者年金に加入することにしました。農業者年金は、農業者遺族年金にもなるようで、私たちが兄弟もそれぞれ結婚しているの、将来的にも

安心です。私たちは、親が水稲と施設園芸とで営農していたため、施設での観葉植物と鉢花を水稲の苗ハウスを利用して、春から秋の作をしています。二年前には、生産直売を目的とした売店をテナントで出店した経験もあり、消費者のニーズに合わせ少量多品目栽培を目指し、将来的には自分たちで直売所を出したいと思っています。

昨今の世界情勢の中、原油などの高騰でプラスチック製品から重油まで生産コストが高くなる中、いかに消費者の求める商品性の高い物、売れるものづくりをするかにかかっていると思います。

私たちが兄弟も、変動の世の中、確かな信念を持ってがんばっていかうと思えます。



農家訪問



飯沼地区 篠崎 茂さん

今回の農家訪問は市内飯沼で、レタス、ハクサイ、ネギ、カボチャの栽培を専業としている篠崎茂さんです。

畑作40年の篠崎さんは高校卒業と同時に就農し、現在レタス3ha、ハクサイ5ha、カボチャ3ha、ネギ1haの野菜農家。

新農業者年金に加入してみよう!

二十一世紀の日本は、超高齢・人口減少社会になると予測されます。リタイア後の長い老後を安心して暮らすためには若いうちからの備えが必要で、年金への加入は欠かせません。財政事情の悪化などから年金に対する不信感が広がっています。新しい農業者年金は少子・高齢化による加入者数の変化や、財政事情に左右されない今の時代にぴったりの安全・安心な公的年金です。担い手への保険料の助成や税金控除など多くのメリットがあり、農業者の確保に

資する政策年金として農政上も位置づけられていますので、是非とも加入されますようお願いいたします。

- ◆農業者年金のメリット
- ① 確定拠出型で長期に安定した制度です。
- ② 農業に従事する人は、広く加入できます。
- ③ 保険料の額は自由に決められます。
- ④ 八十歳までの保証が付いた終身年金です。
- ⑤ 早く加入するほど有利です。
- ⑥ 税制面でも大きなメリットがあります。

営農と暮らしに役立つ

全国農業新聞

発行日 毎週金曜日
講読料 一カ月六百元
申込みは農業委員会へ

篠崎さんの営農は、篠崎さん夫婦と子どもさん夫婦の4人が中心で、今は中国からの研修生3人が携わっています。もちろん認定農業者であり、家族経営協定も結んでいます。
篠崎さんが野菜の栽培で特に気を使っているのは、肥料で、有機質の良いものを使用し、農薬はポジティブリスト制の導入に伴い控えているそうです。
レタス部会の初代会長を務め、毎日を忙しく過ごす篠崎さん。休みもない毎日ですが、最近午後には休むようにしているそうで、夫婦での海外旅行も増えたとのこと。
今後の農業経営で特に必要なことは、やはり野菜の販売体制の強化と、価格の安定であると答えてくれました。